

歴史教科書への雑感

8月半ばにはこの地区の教科書の採択も決まっているでしょう。普通なら何の問題もないことですが、今回は隣国まで巻き込んだ大きな「事件」になっているようです。

さて、話題の扶桑社「新しい歴史教科書」(市販本)を読みました。私は歴史学者ではありませんので、詳細の事実認定については文部科学省を一応信用しておきます。その上で正直な感想を言えば、この教科書は「おもしろい」と思いました。他社の教科書(従来のもの)は歴史的事実の羅列とその説明に終始していて、結局「これを覚えるのか」という気持ちにしかたないのですが、扶桑社のは、「なぜそうなったのか」を重視した書き方になっていて、歴史を流れとして理解することができるのです。私が授業をする場合も「歴史」は流れを重視しますので、私ならこの教科書を使います。

近隣諸国からの文句もあるようですが、例えば「原爆の投下」という事実にしても、日本人とアメリカ人ではその意味が全く異なるように、歴史はそれを語る人の立場で変わることを認識しなければなりません。お互いが「善意」と「寛容」の立場で話し合えればいいのですが、多くの場合、歴史は政治の道具に使われる傾向があります。

内容に問題があるかどうかは読んで判断すればよいと思います。また、教科書を使って教えるのは教師であり、仮に自分の認識と内容が違ふのなら生徒にそれを納得させるような授業をするべきだと思います。「教科書の内容は絶対である」などと盲目的に教える素人教師は教壇に立つ資格はないと思います。

それでも扶桑社の教科書は一部の私立だけの採用になるでしょう。結局近隣諸国や大手新聞社の執拗なプレッシャーをあえてはねのけるほどの意思決定は、公立中学教科書の採択委員にはできないでしょう。それもまた責められません。

塾では平常は社会の授業はやっていませんので、うちの塾で使うことはできませんが、この夏にでも一度読んでみてはいかがでしょうか？

高森台中学 1学期期末テスト結果

		英語	数学	理科	社会	国語	5科目計
中3	塾生平均	94.5	92.8	85.8	87.6	77.2	437.9
	学年平均	66.5	56.9	52.0	62.2	56.4	294.0
中2	塾生平均	83.4	91.5	81.1	70.3	75.5	401.8
	学年平均	54.4	59.0	53.7	49.0	53.8	270.5
中1	塾生平均	94.8	88.1	84.2	63.6	66.3	397.0
	学年平均	79.3	74.1	68.7	52.9	60.5	335.1